



麻里布小だより

<http://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/marifu-e/>



令和5年3月②号 大野元良

ご卒業おめでとうございます！

桜の開花宣言を耳にする季節となりました。校庭ではチューリップのつぼみが膨らみ始め、本格的な春の訪れを感じながら、3月17日（金）に「令和4年度卒業証書授与式」を挙行いたしました。開校150周年記念事業でいただいた真新しい校旗に見守られながら、142名の卒業生は、「凛とした態度」「真剣なまなざし」で式に臨み、学び舎を後にしました。

卒業生の皆さん、改めてご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましては、お子様の12年間の成長と重ね合わせたとき、感慨もひとしおであったこととお察しいたします。これまでの本校教育への深いご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、卒業記念品として、教室用電波時計を5台ご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。この場を借りて、厚くお礼申し上げます。

卒業生にとってこの3年間は、コロナ禍のために、様々な制約を余儀なくされる学校生活でしたが、彼らの前向きな姿や創意工夫に満ちた取組は、校長として誇らしいものばかりでした。式では、卒業生へのメッセージとして、本校の学校教育目標と照らし合わせながら、「自主性」と「たくましさ」を大切にしてほしいことを伝えました。

保護者や地域の皆様、お世話になった方への感謝の気持ちを忘れず、歴史と伝統のある本校で学んだことへの自信と誇りを胸に、新たな一歩を踏み出してくれることを期待しています。



「ぼくたち私たちは麻里布小学校を卒業します。6年間安心安全をありがとうございました。」※校舎南側に掲示

～新しいリーダーの活躍を期待します～

在校生（5年生）が出席する卒業式は、丸4年ぶりとなりました。立派な態度で式に臨む姿から、次期最高学年としての「やる気」を感じ取ることができました。

また、2月28日の「6年生を送る会」の企画・運営や、卒業式の準備に進んで取り組む様子からも、本校の新しい歴史づくりのリーダーとして、今後の活躍への期待が大いに高まりました。

1年間のご協力に感謝申し上げます！

本年度は、「主体的に学び未来を切り拓く、たくましい『麻里布っ子』の育成」を学校教育目標に掲げ、様々な教育活動に取り組んできました。教職員は、日常的な授業改善に向けて、積極的に研修に取り組んできました。11月には、市の指定を受け麻里布中学校と連携した学力向上に向けた研究発表会を行い、高い評価をいただきました。

また、1月には開校150周年記念式典を開催するとともに、記録と記憶に残る多くの事業に取り組むことができました。安全ボランティアや新しい指導者を迎えての花生け活動、読み聞かせ、昨年度からの取組であるミシンボランティアや「九九」ボランティア等々、多くの場面で地域や保護者の皆様のご支援・ご協力をいただき、「つながり」を大切にした活動も充実してきました。

さらに、総合的な学習の時間では、福祉・環境・まちづくりなどをテーマとした多くの学びの中で、地域貢献に焦点をあてた取組を充実させ、児童に地域の一員としての自覚・地域への所属感が芽生えつつあると自負しています。

皆様のご理解とご協力の中で、子どもたち一人ひとりの確かな成長と、学校教育目標の具現化に手応えを感じながら、年度末が迎えられることを心から感謝申し上げます。